

パルde子育て

第9号 2016年 3月

乳幼児の月齢・年齢にそった発達について

パルちゃん広場すくすく・ぽっかぽかスタッフの合同研修として佛教大学の武内一先生を講師にお招きし、学習会を行ないました。

生後6ヶ月を過ぎると、ひとりで座位もとれるようになり、何でも口に入れるようになります。おもちゃの箱や説明書には「警告」や「注意」として、誤飲・窒息の危険を知らせるメッセージが書かれています。また、ペットボトルのふたの大きさよりも小さな物は、子どもの喉を軽々と通り抜けていくということも以前聞いたことがありました。

しかし、この日武内先生にお持ちいただいた円筒型の「誤飲チェッカー」の直径は、ペットボトルのふたよりも大きいものでした。

誤って飲み込んだ物が大人の薬やボタン電池ならば致命的な結果になる場合もあります。

「誤飲チェッカー」を実際に手にしたことで、広場でのおもちゃ選びや、お母さんたちとの会話に活かせるような学びを得ました。

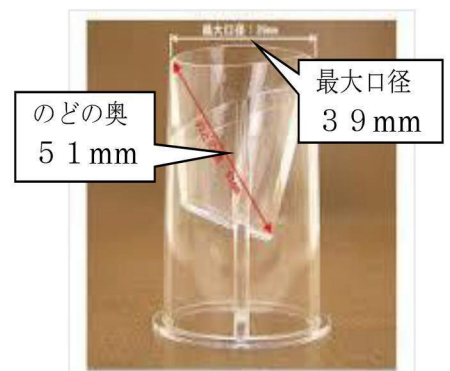
乳幼児の月齢を2ヶ月ごとに区切り、運動発達と精神発達の両面から細かく説明していただきました。

運動発達はおおむね頭から体幹・四肢へと進行し精神の発達は泣く⇒笑う⇒怒るの順で進行していくそうです。

運動発達・精神発達共に個人差があり、発達の早い遅いは将来の能力とは基本的に関係しないなどのお話もいただき、広場に來られるお母さんたちが、日頃不安に思っていることや悩んでいることの多くも、実は正常な発達の過程であることと改めて確認できました。

武内先生のお話はとても分かりやすく、学習会の内容も広場参加者世代に見合った事例で、とても有意義なものとなりました。

赤ちゃんが5ヶ月になったら「誤飲チェッカー」でチェックしチェッカーの中に隠れるものは床から1m以上の高さに置きましょう



パルちゃん広場 ぽっかぽか

子育て中の親と子が気軽に立ち寄り
あそび、絵本を楽しんだり、おしゃべり

ホッとできる広場です。いろいろなおもちゃで遊んだり
の花を咲かせるなど交流を深めています。

常設型子育て広場 パルちゃん広場すくすく

現在月に1~2回主に午前中に、4つの組合員会館・2つの組合員集会室・2つの店舗集会室の8か所で開催しています。
参加者から広場スタッフになる人も多く、各広場それぞれの特徴を活かし、地域に根ざした広場づくりを進めています。

毎週火曜日と木曜日（祝日は除く）の10時~15時
城東組合員会館3階で開催しています

枚方・星ヶ丘店の広場がオープン！

2015年10月に8つ目の広場がオープンしました

枚方組合員会館がエレベーター設置工事で使えなかったため、4月から4ヶ月だけの臨時で星ヶ丘店2階の集会室で広場を開催したところ、予想に反してたくさんの方が参加してくれました。しかもうれしいことに、たくさんの方が毎回来てくれて子どもたちもママたちも仲良くなり、「続けてほしい」という言葉をたくさんいただきました。こんなに広場を楽しみにしてくれている方がいるのなら・・・と2ヶ月で準備を整え10月に本格オープンにこぎつけました。



初日には、参加のママから「久しぶりの広場をずっとずっと楽しみにしていました!」と言ってもらえて、スタッフ一同大感激でした。また、初めての方何人かに「とてもアットホームでほっこりします」という感想をいただき、生協のぽっかぽかの良さをわかってもらえてうれしかったです。

参加者から、新しくスタッフになってくれた人も2人います。「ママとおしゃべりをするのは好きだから、楽しい」と言ってくれながら、自分の子どもだけでなく全体の子どもやママに気を配ってくれてチョッピリ疲れたみたいでした。でも「なかなか他の人に馴染めないママもいるから、気持ちをほぐしてあげたい」とも言って、スタッフとして頼もしいスタートをきってくれました。

これからも、スタッフみんなで“ほっこり”をめざします!!

ケンカしながら大きくな〜れ!

～親の気持ち・子どもの気持ち～

子どもどうしのおもちゃの取り合いは、広場でよくある光景です。親から見ると「いつもおもちゃを取られて泣いてばかり…」や「なんで、お友だちに貸してあげられないのかな?」と心配することも多いのではないのでしょうか?

子どもたちは、何回もおもちゃの取り合いを重ねていくうちに、使う順番を待ったり、ゆずったり、自分の気持ちを言葉にしたり、お友だちと仲良く遊ぶことを学んでいくようです。親やスタッフは、お互いの子どもの気持ちに寄り添いつつ、すぐに割って入ったりせずに、子どもどうしがどのように行動するのかを見守っています。

広場は、いろいろな人と関わり、このような経験をいっぱい積み重ねることで、おとなも子どもも学びの場となっています。



絵本紹介

「コッコさんのともだち」
福音館書店
片山 健 作・絵



こどもにとってはじめての
集団生活、親から離れて過
ごす緊張の毎日。その中で
出会ったたった一人の友だち。その子がいれば毎日が楽しく人生バラ色!! 他の友だちなんて…
でも本当にそれでいいのかな?
たった一人の友だちを大切にすることも大事だけれど
たくさんの友だちと一緒に遊ぶのが広がる。
そんなこどもの世界が表情豊かに描かれています。

「けんかのきもち」
ポプラ社
柴田愛子 文
伊藤秀男 絵



この絵本は「あそび島」という学童のような場所を舞台にしたおはなしです。「なかないで」「友だちと喧嘩しないで仲良くしましょ」と言ってしまうがちですが、この本を見ると、自分の感情を押し殺さず、いっぱいけんかして、いっぱい泣いて、いっぱい仲直りしようねとこどもの成長を応援したくなります。
泣いて帰ってきた息子に一人で泣ける時間と空間を作るお母さんが、おおらかで頼もしく、親のあるべき姿を表わしてくれているように思えます。

寝屋川

阿倍野

城東

枚方

守口

今津

つるみ店

星ヶ丘店



ここで
やっています!

パルちゃん広場ぽっかぽか

詳しくはほるタイムや
チラシをご覧ください

子育てセミナーより

いざという時に役立つ

「子どもに多い病気・症状の手当てを学ぼう」学習会

子どもの突然の熱、おう吐、けいれんなどどんな処置をしたり、どのタイミングで病院へ行った方がいいのかなど、子どもの急病にどうしたらよいかオロオロした経験は誰もがもちと思います。学習会で学んだ中から、子どもに多い病気の特徴や観察のポイント、手当ての方法をお知らせします。

<子どもの病気の特徴>

病気になりやすいがつよい生命力があり回復が早い。反面予備力が少ないので危険な状態になりやすい。肺炎、脱水、感染症などになりやすい

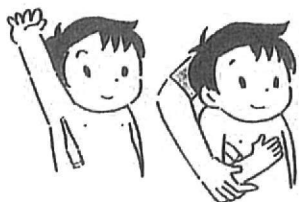
<症状が重くなる時の経過>

長期間続く。次第にひどくなる。繰り返す。他の症状が合わせてでてくる。



正しい体温の測り方

- わきの下の汗を拭き、わきのくぼみの中央に、先端の部分が締まるように入れます。



冷やすとき

- 気持ちが悪そうであれば、氷枕などを使ってよいが、いやがったら使用を止めます。
- 肩を冷やさないようにします。
- 39℃以上の高熱があり、熱を下げることを目的とする場合は、首のつけ根、わきの下、足のつけ根を冷やします。
- ぬるま湯でしぼったタオルで、からだを拭きます。
- 急に熱が下がることがあるので、冷やしすぎないように注意しましょう。



せきのとき

加湿器をつけたり、部屋に洗濯物をかけて、部屋を乾燥させないようにします。

★せきこんだら前かがみの姿勢をとらせ、心身ともに安静にする。



食べる事は元気に生活していくために大切な事です。

この“たべる*たいせつ”ということ子どもたちに家庭で学んでもらうために『たべる*たいせつキッズクラブ』ができました。今では家庭との通信と産地見学や料理などの体験企画を2本柱に据え、楽しく活動しています。

普段の生活の中ではできないことを体験することで、子どもたちは興味・好奇心・意欲をかきたてられ、イキイキとした表情を見せてくれます。

漬物工場では、野菜を育てて漬物を作る話を聞かせてもらい、畑になるきゅうりをもいで食べさせてもらいました。モヤシ工場では、おみやげにモヤシの種をもらって、家でモヤシづくりにチャレンジもしました。身近な食べ物がどうやって作られるのかを体感できるようにと、いろいろな工夫を凝らして企画しています。



子どもたちだけで調理をする『チャレンジクッキング』では、くるくるサンド・押しずし・さけのホイル焼きなどを子どもだけで作り上げて保護者の方にも食べてもらいました。子どもたちは自信と意欲を見せてくれて、一緒に参加された保護者の方には、成長した子どもの一面を知る機会にもなったと大好評でした。

編集者のつぶやき

新しくスタッフになり約半年。ただの参加者だった私に何が出来るか不安でしたが、新しいことがいっぱい楽しい活動です。

『パル de 子育て』がたくさんの人に愛され活用して頂けるように頑張ります！

～ お問い合わせ先 ～

おおさかパルコープ組合員サービスセンター

TEL 0120-299-070

携帯から 072-856-7671 (有料)

FAX 0120-299-230

～ 発行～

2016年 3月

おおさかパルコープ

子育てサポートステーション